れているものがほとんどなので，これらが文字で検索できるようになった．レコードは漢字，読み，位置（秒の小数およびメッシュコード），属性（たとえば自然地名では森，林，原，砂丘，湿原など），所属行政区画，所属地図名など，非常に多くの項目から成り立っている．多くの項目には文字と共に階層コードが与えられているので，これを利用すれば文字面にかかわらず同種の地名を抽出したり，分類，配列したりすることができる．データはそれぞれ CSV，BDE，MDBの3種類の仕様で作られているので，利用者は自分に都合のよいものを選べばよい．国際的利用のためにローマ字項目も用意されているが，いまのところ空白になっている．第一第二水準以外の文字は外字リストをインストールして表示できる．基礎資料とした地形図の管理情報が別ファイルとして付属しているので，分布記録に地図単位のメッシュを利用している人には，これも便利だろう．検索や表示のための簡易表示ソフトを内臓しているので，データベースソフトを持たない人でも検索や抽出ができる．検索結果の印刷はもちろん，外部ファイルに取り出すことも可能である．これらの情報は1998年迄に刊行された地図から得られた最新のもので，データの更新は毎年行うとのことである． 本 CD-ROM は National Gazetteer に当たるもので，わが国でも遂にこういうものができたことはまことに慶ばしい．とくに地名の読みがこれによって一つのよりどころを得たことは，分布情報のデータ化を行う者の悩みの一つが解消したことになる．値段にくらべて非常に利用価値の高い情報である．私の日本地名索引はこれで役目が終わったかというと，そうともいえない．なにせ「最新の」情報なので，標本ラベルに現われる古い地名や「誤った地名」は検出できないし，毎年更新されてしまう．とは言っても，毎年やれるとは思えないが...少なくとも旧5万や20万図のデータについては，弱体ながら当分出番があるだろう．近い将来測地系の変更が予定されており，その際には経緯度値に変化があるが，換算方法については決定次第公表するとのことである．直接購入の場合は，日本地図センター（〒153–8522 東京都目黒区青葉台4–9–6 Tel. 03–3485–5414，Fax 03–3465–7591）に文書（Faxを含む）で申し込めば，請求書つきで送付してくれる．

（金井弘夫）

□五十嵐 邁，福田晴夫：**アジア産蝶類生活史図鑑 I** 550 pp. 1997. 東海大学出版会. ¥43,260.

著者らが約30年間に蓄積したアジア産蝶類約600種の生活史の資料のうち302種をとりあげ，それぞれの幼虫，卵，蛹，成虫（雄雌）のカラー写真で記録している．記述としては，各種の食餌植物，生態，簡単な形態的特徴などが日本語と英語でまとめられ，分布図がついている．食餌植物の写真も150枚以上あり，たとえばウマノスズクサ科31種の中にはニューギニア産など珍しいものを含んでいる．植物の同定は初島住彦博士によるという．図版は写真，製版ともに最高の出来であり，著者らの蝶類への情熱と愛着が感じられると共に，生物の生態記録のあり方を問いかけているようでもある．

（邑田 仁）